

<b>学校名</b>	三郷市立北中学校
<b>所在地</b>	三郷市泉267-1
<b>電話</b>	048-952-5281

## 1 本校の概要

本校は「あじさい運動～5つの一番～」を提唱し、生徒一人一人が社会的な資質や能力、態度を身に付け、規範意識を醸成するための環境づくりに努めている。校長が示す教育の要諦「5つのきょう育」（郷育・協育・響育・競育・強育）を受け、読書活動を豊かな心を育成する「響育」と捉え、取り組んでいる。そして「日本一の読書のまち三郷」の市民として読書が生活の一部となるよう、読書活動の推進に力を入れている。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

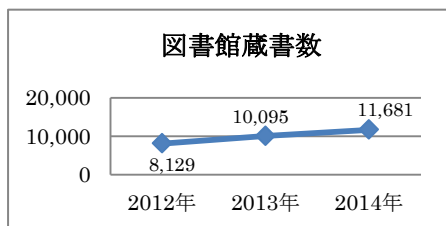
- ・学校図書館の多面的な利用方法について

### (2) 実践の概要

読書に親しみ、想像力や思いやりの心(豊かな心)の育成と、調査・研究・課題解決のために必要な資料を見つけ出し、活用する能力の育成を通し、「日本一の読書のまち三郷」の市民として生涯にわたり、読書を愛好する態度の育成を図る。

#### ア 学校図書館の増書策

学校図書館図書標準で14学級は11,680冊と定められているが、本校蔵書数は昨年度末で10,095冊だった。限られた予算の中で、子どものニーズに応えるためにも蔵書数を増やしたいと考えた。まず、保護者からの寄贈本を依頼、さらに教職員からの寄贈本の提供に努めた。10月には、三郷市内の公共図書館の除籍本1,111冊を受け、12月末現在での蔵書は11,681冊となった。



#### イ 学習センターとしての機能の充実

今年度は、1年生の社会科で地理の調べ学習を行

い、2年生の技術・家庭科(家庭分野)で食についての調べ学習を行った。同じく2年生の国語科で、ブックトークのための授業(司書によるブックトーク)を学校図書館で行った。三郷市の団体貸出を利用し、100冊単位で「食」をテーマにした本や「絆」を描いた本を借り、活用した。また、夏休み中には、学校図書館で、お盆期間を除きほぼ毎日、英語・数学の補習を行った。

#### ウ 図書ボランティアによる読み聞かせ

11月23日を「北中家庭読書の日」と定め、前後2週間を「北中読書週間」とし、朝読の時間に地域ボランティアによる読み聞かせや、2年生の国語の授業で生徒達がブックトークを行った。



#### エ 朝の読書時の学校図書館利用

朝の会前の10分間、全校で読書をしている。朝読書率は100%である。三郷市立図書館から、朝読用に各クラス30冊の貸出をしていただいているが、月に1回学級文庫の入れ替えをしている。11月の読書月間は、各クラスが1回ずつ図書館で朝の読書をするよう割り振り、「秋だ!読書だ!図書館へ行こう!!!」と称し、朝読を学校図書館で行うためのプロジェクトを実施した。

## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

本に親しむことのできる環境を整備してき

ため、貸出冊数が伸びている。三郷市立図書館との連携により、調べ学習資料・朝読の本・ブックトーク資料本の貸出をしていただき資料の充実を図ることができた。その成果として、「図書館を使った調べる学習コンクール」や三郷市が行っている「家読ゆうびんコンクール」へ多数応募することができた。

### (2) 課題

夏休みに地域開放日を設けたが、地域の方の利用がほとんど無かった。今後、地域の学習センターとしての図書館を目指した活動を行うように尽力する。

